

H.23

## 四月（今月の掲示板）

真宗大谷派・願成寺  
（こんげつ　けいじばん）

相手が鬼に見える時は、自分もまた鬼である

自分が憎み嫌う人を『鬼』とし、自分に都合の善い事や人を『福』と受け止める『物差し』で計る限り、鬼は増え続けます。眞面目な心で、悪を捨てて善人になるつもりが、気がつくと何時の間にか自分自身が人を裁き『鬼』になつていたりします。心はコロコロと、その時の感情や自分の都合で悲しくも嬉しくも変わります。

佛教は『物事の道筋（原因・理由）を見抜く力を持って』と説きます。人生には、幸・不幸、勝ち・負け、善・悪などがあり、『善い事のみが有りますように』と神仏に願うのが私たちで、『なぜ悪い事ばかり続くの？』と思うのは、悪い所ばかりしか見ていないからです。この事に気づいた時、常に私を包み込んでいる『仏様の智慧の光明』により、『禍を転じて福となす（諺）』=災難を巧く乗り越え・幸せになる『智慧を頂くのです。しつかりと自分を引き受けて・前を向いて歩く貴方に、親鸞様は寄り添い・一緒に歩いて下さっています（同行二人）。